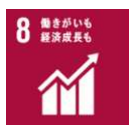


普及現地情報



発信年月日:令和 8 年(2026年)9月24日
所 属 名:東近江農産普及課
番 号:D26011
発 信 者 名:田中義

子実用とうもろこしの収穫が始まりました

令和8年春播きの子実用とうもろこしの収穫が8月下旬に行われました。今年度は子実用とうもろこしにとって天候も良く高い収量が期待されます。

当課では、管内で本格的に作付けが始まった令和4年から、飼料作物を組み入れた土地利用体系の検討に向け、子実とうもろこしの春播き作付体系を確立するため、定期的に生育状況や病害虫の発生状況などの調査を行い、生産者の支援をするとともに、管内に適する品種選定を行ってきました。この結果、2～3品種に絞られ、収量も年々向上してきました(過去3年の平均 500～600kg/10a)。

今年も昨年同様、厳しい暑さが続き、降水量が少ないことから収量確保が心配されましたが、順調に生育しました。また、一部のほ場で鳥害が見られたものの、病害虫の発生もなく、8月下旬から順次収穫が開始されました。

今後、夏播きの収穫も開始されることから、当課では支援を継続し耕畜連携の推進に取り組んでいきます。



収穫直前のほ場(東近江市愛東地域)



汎用コンバインによる収穫